

1. 余部遺跡第8次発掘調査報告

1. はじめに

今回の調査は、京都府南丹土木事務所が計画している「宇津根新国道線広域幹線アクセス街路整備事業」に伴う事前調査である。本事業予定地には余部遺跡が所在しており、平成9・10年度に同事業に伴い発掘調査が行われている。^(注1)余部遺跡は大堰川右岸の河岸段丘に立地する弥生時代から中世にかけての複合遺跡で、第2次・第5次調査で弥生時代の竪穴式住居跡および方形周溝墓群、古墳時代中～後期の竪穴式住居跡が確認された。

現地調査は、当調査研究センター調査第2課第1係長小池 寛、同調査員松尾史子が担当し、平成19年9月3日から10月3日までの期間に実施した。調査面積は350㎡である。

調査にあたっては、地元自治会のほか亀岡市教育委員会、京都府教育委員会をはじめとする各関係機関の御指導、御協力があった。また、現地作業および整理報告にあたって参加・協力いただいた方には記して感謝したい。^(注2)

なお、発掘調査に係る経費は、全額、京都府土木建築部が負担した。

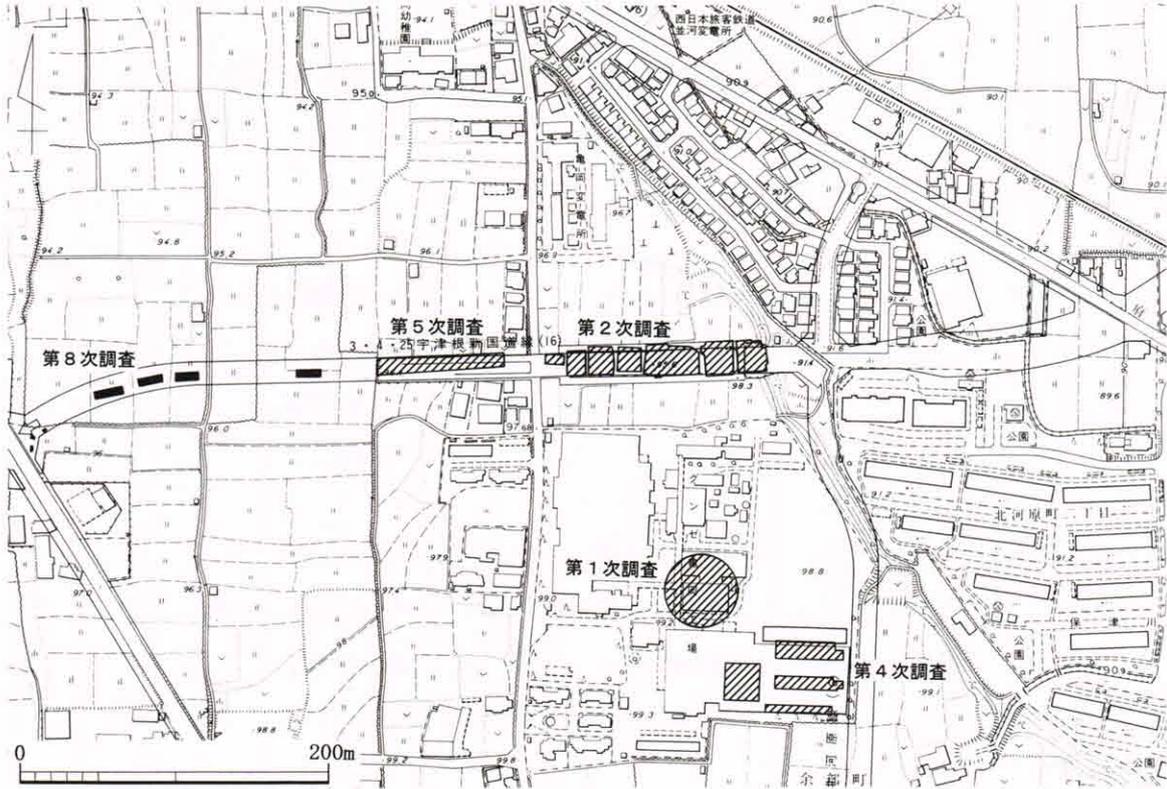
2. 調査の概要

今回の調査対象地は、第5次調査地から国道9号線までの区間にあたり、過去の調査成果により集落の外側に広がる水田域にあたと想定されていた。調査にあたっては、7か所のトレンチを設定して試掘調査を行った。1～4トレンチは重機及び人力で調査を実施し、5～7トレンチはすべて人力で調査を行った。調査後は、関係機関の現地確認を経て速やかに埋め戻しを行っ

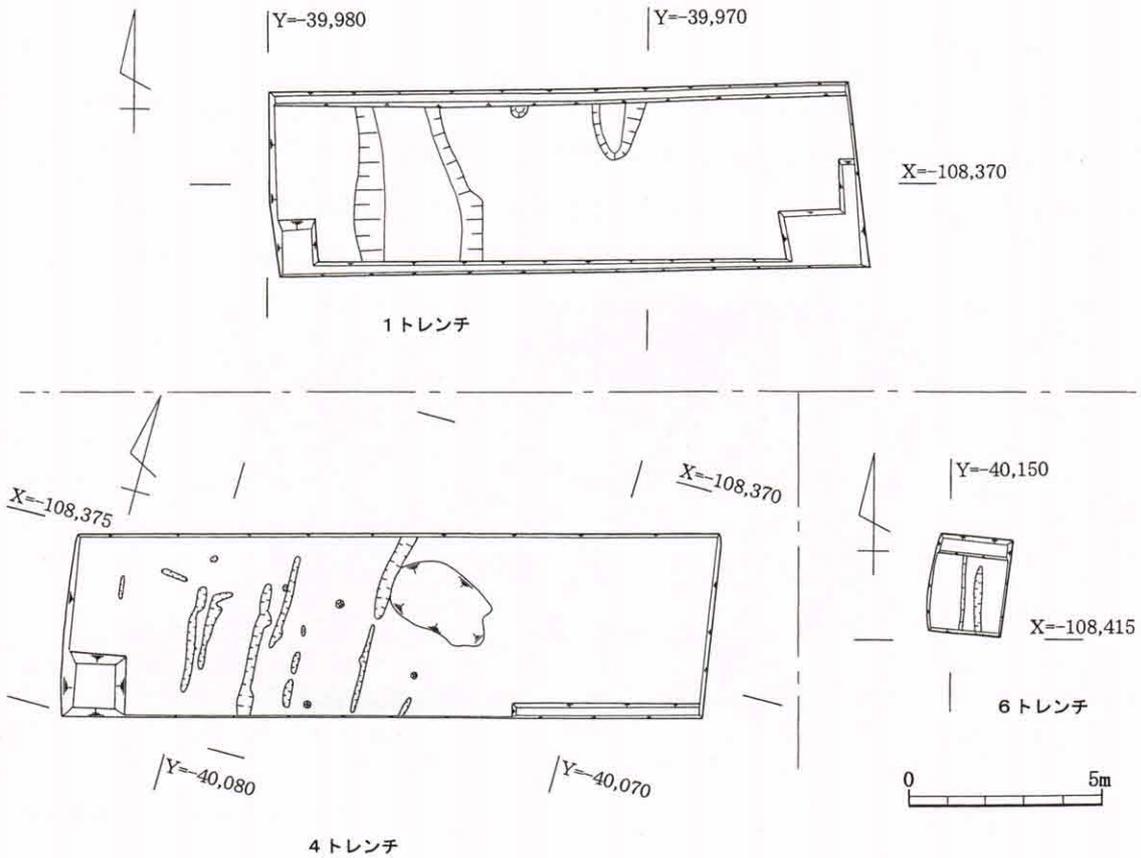


第1図 調査地及び周辺遺跡(国土地理院 1/25,000 亀岡)

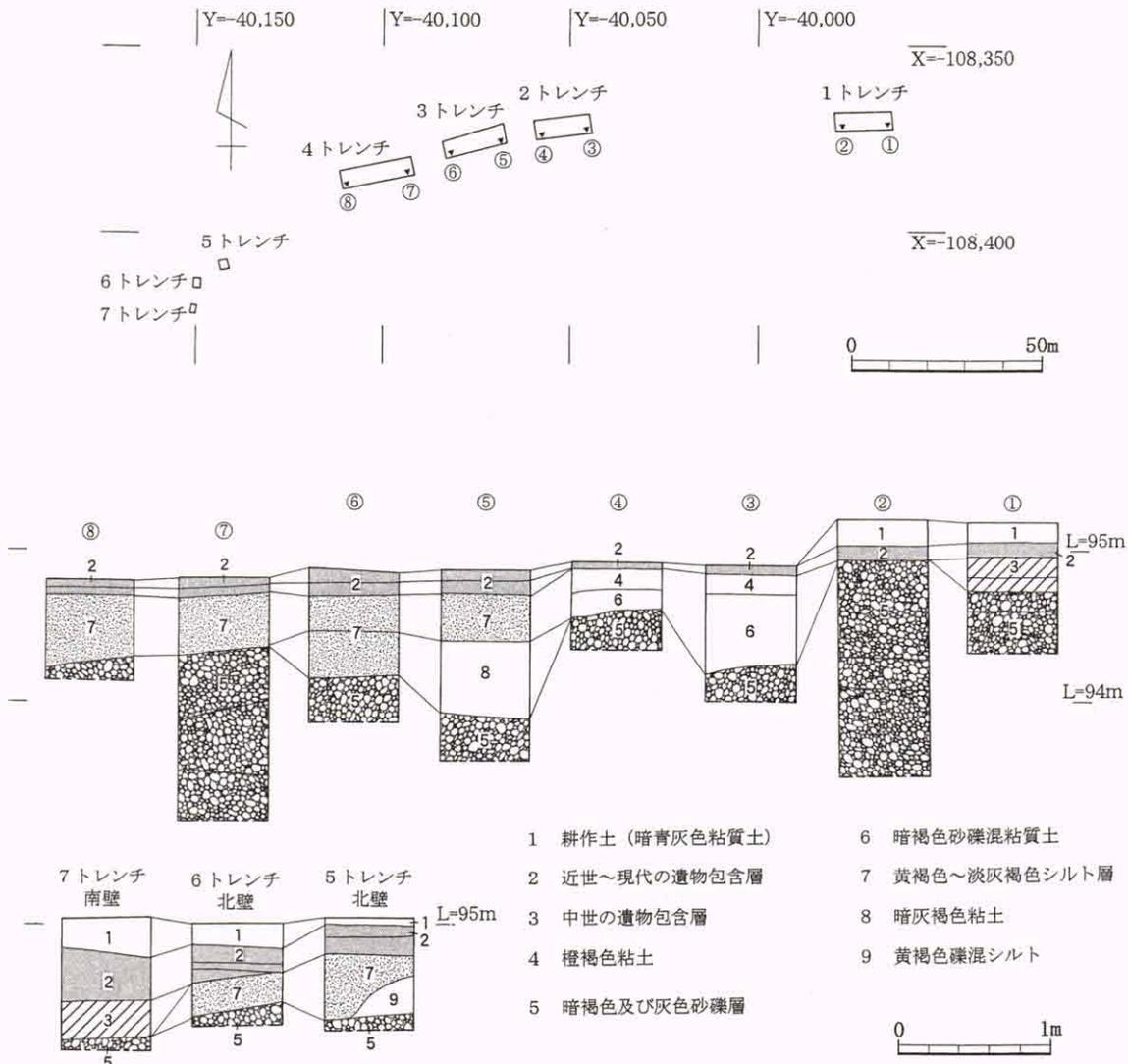
- 1：余部遺跡 2：余部城跡 3：穴川遺跡 4：並河城跡
5：野寺廃寺 6：太田遺跡 7：穴太城跡 8：南金岐遺跡



第2図 調査地位置図 (S = 1/5,000)



第3図 1・4・6トレンチ平面図

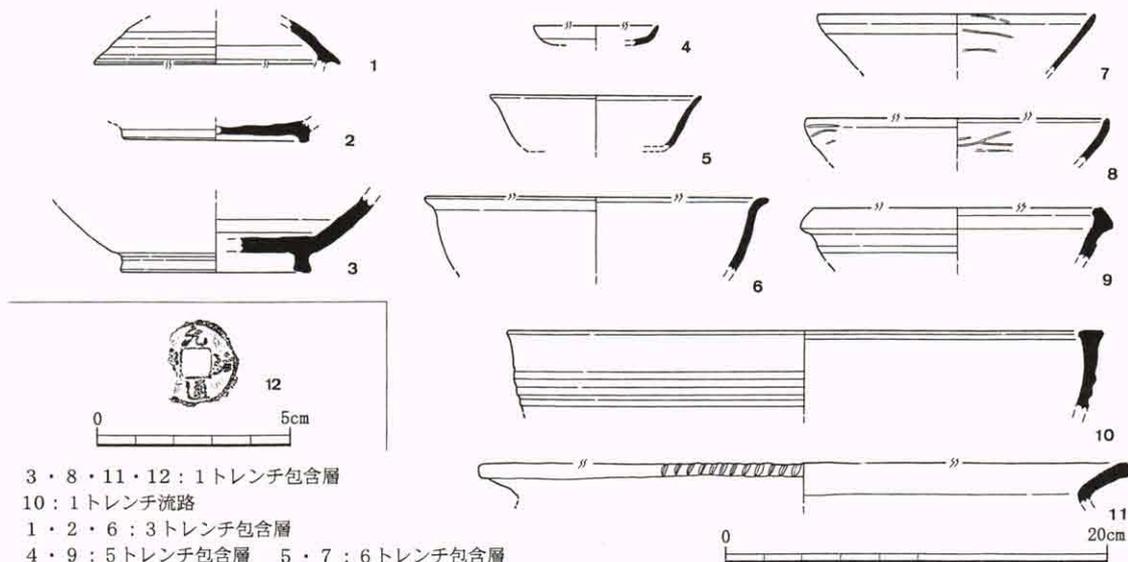


第4図 各トレンチ土層柱状図

た。なお、調査で使用した座標系は世界測地系である。

検出遺構 1トレンチでは中央西よりで中世の流路を確認した。埋土は灰色砂礫層と青灰色粘土層で、弥生土器と瓦器がわずかに出土した。ベースは褐色・灰色の砂礫層である。2トレンチでは暗褐色砂礫混粘質土の下で河岸段丘を構成していると考えられる硬く締まった暗褐色砂礫層を確認した。3～6トレンチの基本層序は上から耕作土、床土、黄褐色・淡灰褐色シルト層、灰色砂礫層で、黄褐色・淡灰褐色シルト層上面で近世から現代の耕作溝を数条と時期不明のピットを確認した。これらの溝の主軸方位はほぼ正方位をとる。4トレンチの断割では表土下1.5mで湧水層に達した。灰色砂礫層は遺物を含んでおらず、調査地一帯に広がっていることから犬飼川の氾濫によってもたらされたものと考えられる。また、3トレンチ西端の断割で黄褐色・淡灰褐色シルト層からわずかに遺物が出土したが、時期は不明である。

出土遺物 今回の調査では、弥生時代から江戸時代までの遺物が遺物整理箱で1箱分出土した。遺物は、ほとんどが包含層出土で破片資料が多い。以下、主な遺物について図示する。



第5図 出土遺物実測図

1～3は須恵器で、1は杯蓋、2は杯B、3は壺か鉢の底部である。飛鳥・奈良時代のものがある。

4は土師器皿、7・8は瓦器碗、9は東播系須恵器鉢である。5は中国南部産の口禿げの白磁皿、6は龍泉窯系青磁碗である。6が15世紀ごろに降る以外は、13世紀代のものである。

10・11は弥生土器で、10は鉢で1トレンチの流路から出土した。11は甕の口縁である。弥生中期の集落に伴うものと考えられる。

12は北宋銭で、1189年初鑄の「元祐通寶」である。1トレンチの中世包含層より出土した。

3. まとめ

今回の調査では、近世以降の耕作溝が検出されたのみで顕著な遺構・遺物は見られなかった。遺物には弥生時代および中近世の土器や陶磁器等があるが、そのほとんどが河川の氾濫や後世の耕作に伴うものである。調査地一帯は、段丘上に立地する集落の中心とは約3mの比高差がある。おそらく河岸段丘の裾付近に広がる犬飼川の氾濫原であり、土地利用がしにくかったため中世に入ってからようやく耕作地として開発され始めたのではないかと考えられる。(松尾史子)

注1 野々口陽子「余部遺跡第2次発掘調査概要」(『京都府遺跡調査概報』第81冊 (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター)1998

野々口陽子「余部遺跡第5次発掘調査概要」(『京都府遺跡調査概報』第88冊 (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター)1999

注2 調査参加者及び協力者(敬称略・順不同)

(作業員) 井上敏代・飯田耕市郎・上村民夫・川勝宗治・坂本隆澄・網島輝・手島秀・八田恭平・横川正治

(調査補助員) 井川 怜・丹上新太・廣瀬慶典・松本亮大

(整理員) 荒川仁佳子

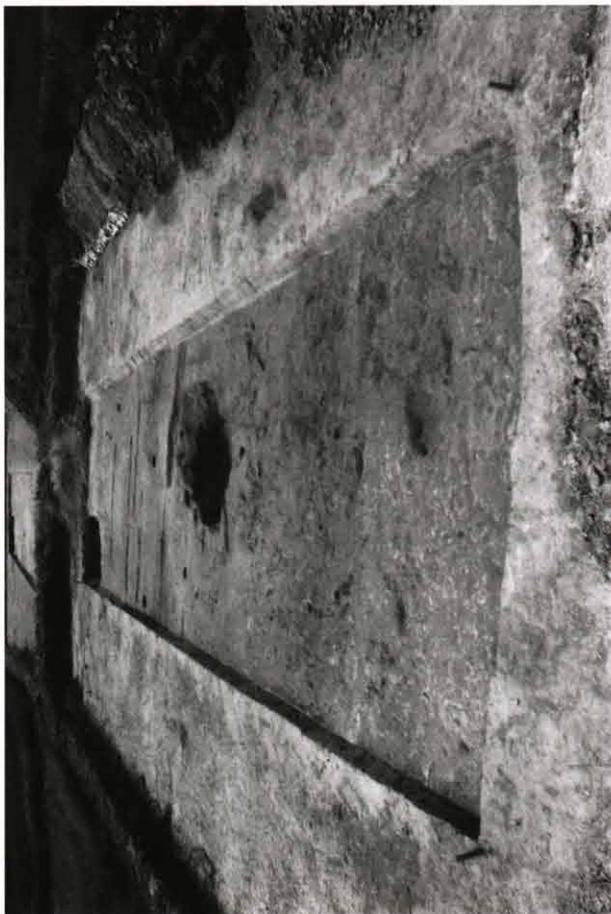
圖 版



(1) 調査地近景(東から)



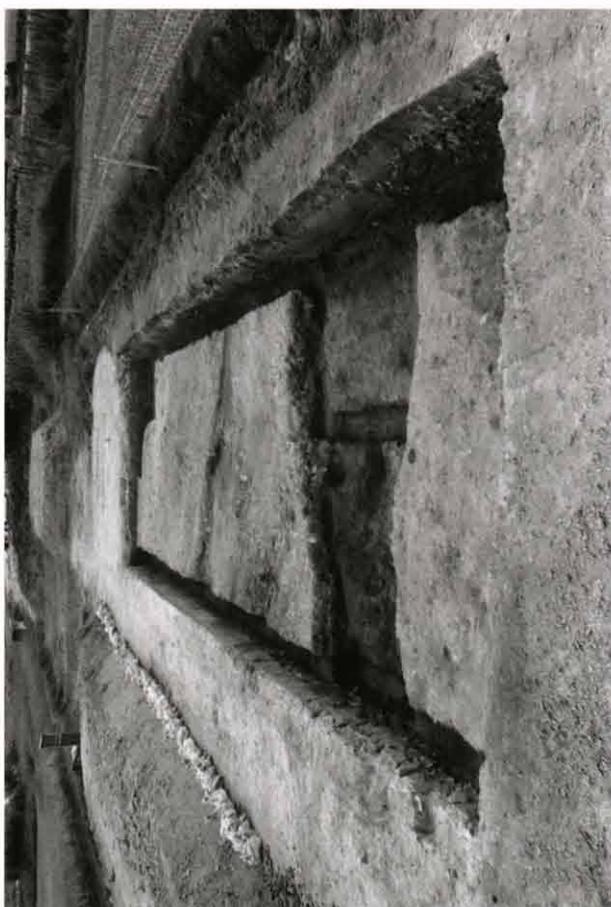
(2) 調査地近景(西から)



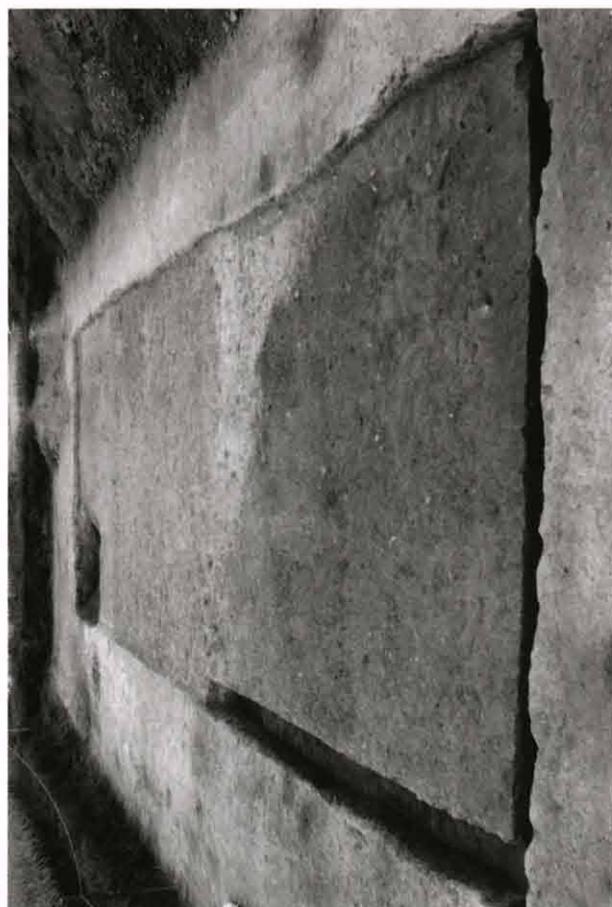
(3) 3トレンチ全景(東から)



(4) 4トレンチ全景(東から)



(1) 1トレンチ全景(西から)



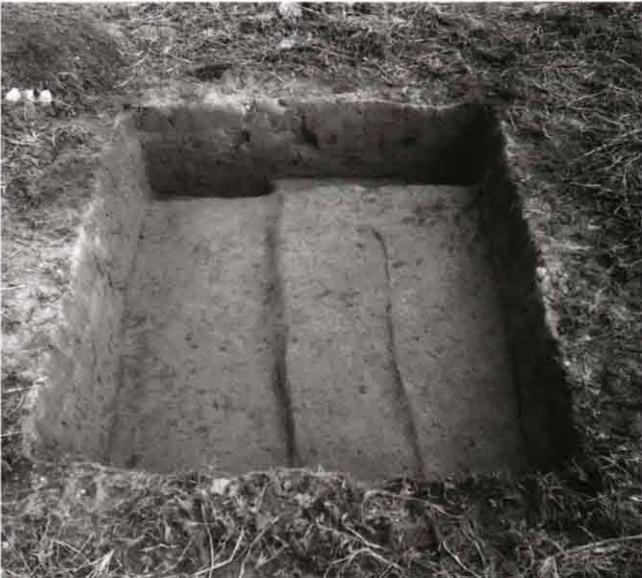
(2) 2トレンチ全景(東から)



(1) 5 トレンチ全景(東から)



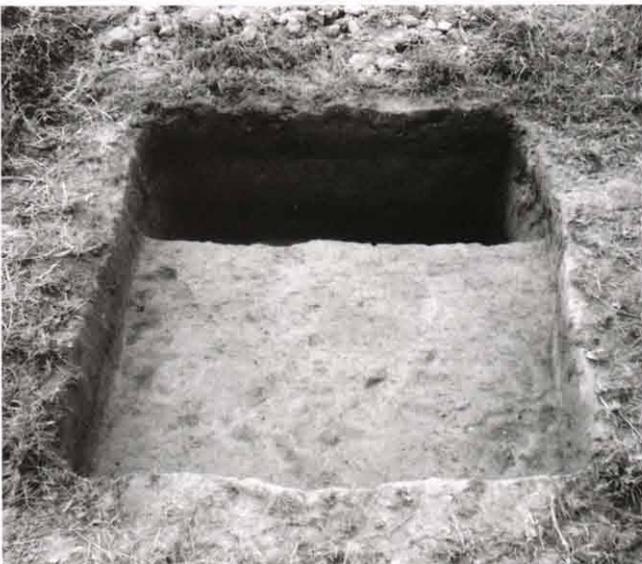
(4) 2 トレンチ南壁西端土層断面(北から)



(2) 6 トレンチ全景(南から)



(5) 3 トレンチ南壁西端土層断面(北から)



(3) 7 トレンチ全景(北から)



(6) 4 トレンチ南壁西端土層断面(北から)



(1) 5 トレンチ北壁土層断面(南から)



(2) 6 トレンチ北壁土層断面(南から)



(3) 7 トレンチ南壁土層断面(北から)



(4) 出土遺物(土器類)



(5) 銭貨(「元祐通寶」)